

トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回（1月・4月・7月・10月）発行です。



No.1

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ
TEL 052-219-1906
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している
以外にも当社の最新
ニュースや施工実績を
HPでご覧いただけます。



博士号を取得!

技術研究開発部研究開発グループの藤田悠社員は、名古屋工業大学大学院の工学研究科に派遣され博士号を取得しました。



技術研究開発部
研究開発グループ 藤田 悠 社員

研究テーマ 不平衡配電系統における電力品質改善に関する研究

研究概要 APFCやコンデンサを活用し、配電系統の電力品質改善を目指す

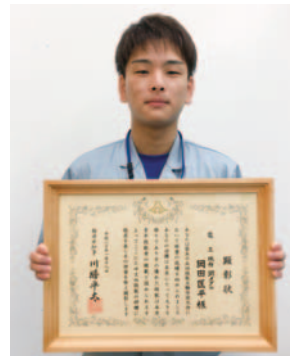
表彰



3月23日
（一社）日本電気協会から
特別功績者表彰
技術研究開発部 研究開発グループ 古田涼亮社員
開発した「Mi ELP LAS[®]」が電気事業の発展に寄与したと評価されました。



1月19日
天白消防署から表彰
天白営業所
危険物保管事業所として安全管理と当社営業所施設の保全を積極的に推進したことが評価されました。



1月18日
静岡県から表彰
教育センター 営業研修グループ 岡田匡平社員
昨年11月に栃木県で開催された技能五輪全国大会の電工職種で銅賞を獲得し、本人の出身地である静岡県に評価されました。



3月20日
工業高校生に技術指導
愛知県内の工業高校生を対象とした「愛知県高等学校工業教育研究会総合競技大会」の会場を目指す学生などを教育センターに招いて技術講習会を開催し、16校から生徒34人と教員25人が参加しました。

当日は、当社の技能五輪選手が実技を披露しました。



▲電線の接続体験の様子
URERAの要請を受け、ミャンマーの送配電系統技術能力向上プロジェクトに協力し、同国電力省や電力会社の関係者に配電線工事技術などを紹介しました。研修は4日間行われ、参加者は配電線工事の現場見学や、圧縮工器具を用いた電線の接続など配電線工事の実技体験などを行いました。

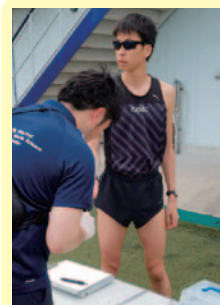


選手にスポットを当てて紹介します。

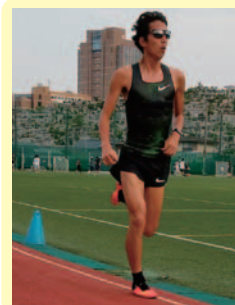


日本オリンピック委員会強化指定選手に抜てき

中川智春選手と服部弾馬選手が「日本オリンピック委員会強化指定選手」に選出されました。両選手は、日本のトップアスリート達と合同合宿などを行い、オリンピック出場の切符を目指し、トレーニングを行っています。



中川智春選手
1つ1つの練習を丁寧に積み重ね、オリンピックを目指します!



服部弾馬選手
JISS※合宿では、良い刺激を受けました。日本代表選手になるために頑張ります!
※トップアスリートが強化トレーニングを行うための施設。

オリンピック強化スタッフに抜てき

当社陸上競技部の松浦忠明監督が、男子長距離の東京オリンピック強化スタッフに選出され、強化指定選手の育成や指導（高地トレーニングやスポーツ科学的なサポート）を行っています。



高地トレーニングの専門家と打ち合わせを行う様子(右が松浦監督)▶



応援の時は
小山ー!!って
叫んで下さい

キャプテン
小山裕太選手

1994年2月4日生まれ。
愛知県出身。
2015年に入部し、2017年にキャプテンに就任。
4月の日本体育大学長距離競技会の10000mで自己新記録(28分55秒97)をマーク。

小山選手のここに注目!

10000mに力を入れてトレーニングをしています。
10000mのタイムが上がれば、駅伝でも主力としてチームを引っ張ることができるので、28分30秒台を切るのが目標です。

カンボジアでODA案件を元請受注

5月10日
カンボジア王国のカンボジア電力公社より、同国の首都プノンペンへの電力安定供給を図るプロジェクト「プノンペン首都圏送配電網拡張整備事業」として変電所の新設および地中埋設ケーブルの敷設工事を受注しました。今回の工事は円借款事業(ODA)として実施されます。当社としてODAの元請受注は2件目となります※。
※1件目は平成28年3月に受注したミャンマー連邦共和国のティラワ経済特別区の変電所および架送電線の新設工事
主な工事内容
工期…2018年6月～2020年5月(予定)
●変電所2箇所の新設
●変電所(115/22kV、75MVA×2台)をプノンペン市内の2箇所に新設。
●地中埋設ケーブルの敷設
既設のGSI変電所からプノンペン市内中心部に向けて、延長約15キロにおよぶ地中埋設ケーブル(115kV)を敷設。

平成29年度決算(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
当期の業績は、中部電力向けの工事は減少しましたが、空調や通信関連工事が好調に推移したことや太陽光発電事業の売電収入が増加したことなどから増収増益となりました。また、経常利益は連結決算となつた平成10年度以降で最高値となりました。

連結・個別経営成績(単位:百万円)

	30年3月期		29年3月期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	207,198 (4.7%)	188,783 (4.6%)	197,842 (△0.2%)	180,461 (△6.5%)
営業利益	9,002 (16.7%)	6,975 (8.1%)	7,716 (△4.9%)	6,452 (△12.7%)
経常利益	8,918 (12.8%)	6,877 (4.0%)	7,906 (△3.7%)	6,612 (△11.6%)
親会社株主に 帰属する当期純利益 (個別は、当期純利益)	5,783 (11.8%)	4,409 (△0.4%)	5,170 (16.4%)	4,428 (8.6%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前期増減率

第66回電設工業展

JECA FAIR 2018に出展しました

電気設備の機器・資材・工具や施工技術などに関する日本最大級の総合展示会「JECA FAIR 2018 第66回電設工業展」に出展しました。



初出展製品

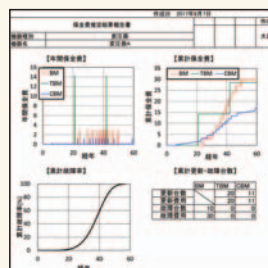
アセットマネジメントツール

近年、バブル期に施工された電気設備の多くは高経年化のため更新需要が増えています。その一方で保全費のコストダウンが求められています。そこで、これらの課題を解決するために需要家の電気設備を対象にアセットマネジメント（設備について、故障のリスクや機器の早期更新による損失を考慮した上で、経済的な保全方法を選定する考え方）に基づいた将来の長期的な保全費を推定するツールを開発しました。

お問い合わせ先 技術研究開発部 TEL:052-619-1707

導入メリット

- 保全費用の推移をシミュレーションすることで保全計画の立案が可能です。
- 事後保全※1、時間基準型保全※2、状態基準型保全※3の3種類の保全方式による保全費用の比較が可能です。
- 設備の更新基準や診断間隔などの条件を変更することで、より合理的な保全条件の検討が可能です。



- ※1 故障してから更新すること
- ※2 期間を決めて更新すること
- ※3 診断結果で判断し更新すること

◀推定結果出力図（イメージ）

初出展製品

配電確認票システム

配電線工事において、高圧電線の停電作業を行う際、具体的な停電・送電操作の方法や確認項目が記載されている「確認票」に沿って作業を進めますが、手順などの省略行為（慣れ・思い込み・勘違い）により、停電範囲外の電気を止めてしまう事故が発生する恐れがあることなどが問題視されていました。そこで、確認票を電子化してタブレットPCに搭載し、エラー表示などにより確認票に沿った作業ができ、事故を防止するシステムを開発しました。

お問い合わせ先 配電本部 配電統括部 TEL:052-219-1623



▲従来の「紙による」確認票



▲開発品の「電子化した」確認票

紙（帳票）から
電子へ

現場の足跡

聖隷浜松病院

静岡県西部における中核医療機関のひとつで、静岡県の災害拠点病院にも指定されている聖隷浜松病院の電気設備を施工しました。



施工メモ

病院の患者さまの中には、微弱な電気により、身体に深刻な影響を受ける方がいます。そこで、全ての機器や露出金属を含む院内全体を電気室で1点に集中接地して、漏れ電流が流れない状態をつくり、電氣的な悪影響を受けないようにしました。

また、シールドルーム（電磁波を遮蔽（しゃへい）した部屋）の施工では、部屋の遮蔽性を損なわないように、銅製の遮蔽板に穴を開けずに配線ルートを取るなどの配慮をして施工しました。



▲ハイブリッド手術室

施工概要

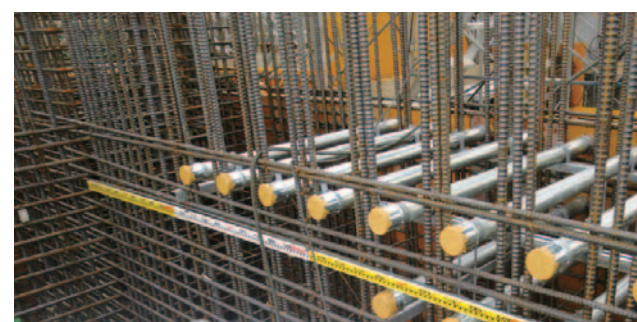
- 工事場所 静岡県浜松市中区住吉2-12-12
- 工期 平成22年9月1日～平成29年2月28日

施工メモ

地下1階と地上3階に高さ約15m、床面積約400㎡の広大な空間を造り、ガントリーと呼ばれる日本でも数少ないがん治療装置が設置されています。ガントリーは横たわった患者さんの周りを機械が回転し、任意の角度からがん細胞に向けて放射線を当てて治療を行います。ガントリーから重粒子線という放射線が出るため、放射線が壁を突き抜けないように部屋の天井や壁を厚さ1m以上のコンクリートで覆うとともに、壁の中に鉄管を埋め、その中にケーブルなどを敷設し、放射線が外へ漏れないように施工しました。

施工概要

- 工事場所 京都府京都市上京区河原町通広小路 上ル梶井町465
- 工期 平成27年9月1日～平成29年11月15日



▲施工中のガントリー治療室壁面の様子

京都府立医科大学 永守記念最先端 がん治療研究 センター

京都府内で初めて、がんの陽子線治療装置を導入し、京都府および近隣地域の医療強化の面で大きな期待が寄せられている京都府立医科大学 永守記念最先端がん治療研究センターの電気設備を施工しました。